

5年生 「図画工作」の学習

5年生では、こんな学習をします。

* 学習の目標

- (1) 創造的に表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにします。
- (2) 材料などの特徴をとらえ、想像力を働かせて発想し、主題の表し方を構想するとともに、様々な表し方を工夫し、造形的な能力を高めるようにします。
- (3) 親しみのある作品などから、よさや美しさを感じ取るとともに、それらを大切にするようにします。

☆授業の工夫



- 児童が『思いをこめて、心きらきら』と、自分の感性を意識し、自分が感じる美しさやよさの表現に取り組む楽しさを実感するような授業を心がけていきたいと思います。
- そのために、次のことをしていきたいと思います。
 - ・自分の感性を大切にしながら造形活動をする能力の育成
 - ・構想をじっくり考えて表現活動をする能力の育成
 - ・表現の意図に合った材料の選択や表現方法を工夫して表現活動する能力の育成
- 高学年の図画工作では、造形的な見方や感じ方を深め、自分の思いを大切にしながら発想や構想を練り、技法、デザインなどを工夫して表現する喜びや鑑賞する喜びを味わわせるとともに、造形的な創造活動への意欲と豊かな表現力や感性を育てたいと思います。

☆年間の学習計画

	前 期	時間	後 期	時間
単 元 ・ 題 材	1 よく見て描こう	6	6 広がれアート！	6
	2 動くよ動く 絵が動く	6	7 作品展を鑑賞しよう	1
	3 心広がる場面	5	8 こんなとき感じると思うこと	6
	4 曲げてねじって	2	9 トローリかたまれ（粘土）	4
	5 板を切りぬいて	6	10 ほって 刷って（版画）	7
			11 きょうかしよびじゅつかん 「日本のアート」（鑑賞）	1

☆評価の観点

【造形への関心・意欲・態度】

自分の思いをもち、造形的な能力を働かせるとともに、自らつくりだすことや美しさなどを感じ取ることなど造形表現活動を積極的に楽しみ、その喜びを味わおうとすることができる。

【発想や構想の能力】

見たことや感じたことなどをもとに想像力を働かせ、主題の表し方など自分らしい表現の構想をしたり、デザインの能力を働かせて、つくりたいものの意図や美しさを考えるなど豊かな構想をしたりすることができる。

【創造的な技能】

表したい意図や周りの様子に関連づけながら、創造的な技能を働かせたり、造形感覚を生かしたりして、表し方を工夫することができる。

【鑑賞の能力】

造形作品などに親しみ、その美しさなどを感じたり、表し方のよさを感じ取ったり、味わったりすることができる。

☆評価の方法

〈表現〉

- ・活動中の態度
- ・活動の内容

〈鑑賞〉

- ・自己評価カード
- ・発表や鑑賞カード

などを総合的に評価します。

